

■ グループ紹介

住友シチックス株式会社

1. 沿革

当社は1950年11月、(株)大阪特殊製鉄所を資本金500万円で設立、1952年11月には、社名を大阪チタニウム製造(株)に変更し、通産省発表の「チタニウム工業育成対策要綱」を背景に、金属チタン月産50トンの本格的な生産設備を完成させた。そして1982年1月には、スポンジチタンの年産能力は1万8,000トンとなり、自由世界最大のチタンメーカとなった。

半導体シリコンは、1957年3月に製造研究が開始され、1960年3月にシリコン単結晶の製造に成功した。1973年8月には、九州電子金属(株)を設立し、その後は単結晶工場、エビタキシャル・ウエーハ工場等を拡充して、1991年には8インチ・ウエーハの生産を開始した。

そして1993年1月に、社名を大阪チタニウム製造(株)から住友シチックス(株)に変更した。

2. 事業展望

住友シチックスでは、半導体シリコン、金属チタンを高い技術力で製造し販売する会社として、日本国内はもとより、北米、欧州、アジアを国際的にネットワーク化することに努めてきた。

今では、一貫した生産体制、販売ネットワークの展開、品質保証・技術サービスの体制が世界規模で確立し、金属チタン、半導体シリコンについては、多様化する次世代のニーズに的確に対応できるようになっている。そして、“世界共生”の精神を基に、国境を越えた企業活動を通して、より豊かな世界の発展に貢献したいと考えている。

3. 事業内容

当社の主要事業は次の通りです。

チタン部門：金属スポンジチタン、チタンインゴット、チタンコンパクト、フェロチタン、フェロチタンボロン、四塩化チタン、粉末チタン、水素化チタン、

一酸化チタン(蒸着剤)およびシックス・ナイン級の高純度チタン

シリコン部門：シリコン多結晶、シリコン単結晶、シリコン・ウエーハ、半導体級の三塩化シラン、四塩化珪素および一酸化珪素(蒸着剤)

4. 現況

資本金	81億53百万円	(平成7年3月末現在)
従業員	2,531名	(“ ”)
売上高	640億円	(平成7年3月期)
本社	兵庫県尼崎市東浜町1番地	
支社、営業所	3(東京、福岡、宮城)	
事業所	2(佐賀、伊万里)	
研究所	2(尼崎、佐賀)	

5. 研究開発

当社の研究開発の主な組織と事業は次の通りです。

本社、研究開発センター

将来指向の研究開発を通して革新的技術による新規事業の創生と育成を行っている。

(1)新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)からの委託を受けて、太陽電池の実用化に向けて多結晶シリコン製造のために電磁鑄造の研究に取り組んできている。

(2)メモリ、マイクロプロセッサ等、超LSIに用いるシックス・ナイン級の高純度チタンを製造し、市場にも供給している。

シリコン製造・技術本部

12インチ・ウエーハ、256メガビットDRAM用ウエーハに代表される超LSIの高集積化、デバイス寸法の超微細化等に対し、次世代用の高品質シリコン・ウエーハの開発等に向けて、基礎的な技術力、製品の開発力および生産技術力の充実化を行っている。

所在地：〒660 兵庫県尼崎市東浜町1番地

(文責：技術部部长 白井 龍夫)